

## ガイドブックに載っていない学校案内 ～第4回 千葉県立千葉南高等学校～

第4回は千葉県立千葉南高等学校です。

① ニコ数年、他の千葉市内の県立高校と比べて倍率が低いのですが、その理由は何ですか？

本校は千葉市中央区という住所なんですが、実際に通っている生徒のほとんどは、外房線沿の生徒です。その地域の生徒数が減ってきているのが原因です。同じ外房線沿線の土気高校でも受験者数が減っています。

② 受験人数を増やすため、高校独自で行なっている事などはありますか？

高校として受験生を増やすことに大きな力を入れていません。学校長の方針として、今お預かりしている生徒の指導に力を入れています。なので中学校への訪問を特別に増やしたり、お金をかけたパンフレット作ったりといったことはしておりません。在校生の指導がしっかりしていれば、それが伝わっていくと考えております。

③ 受験人数が少ないことが学校運営に影響することはありますか？

受験人数は減っていますが、千葉南高校としての学力は維持されています。また、入学者もまじめで落ち着いているという、本校の校風にあった生徒達ばかりです。

④ 公立高校が私立高校のように受験人数の減少に危機感を感じることはありますか？

公立高校の教師は5年から10年で転勤があり、いろいろな高校に勤務します。それぞれの学校で受験人数を増やしたい気持ちを持ったりもします。しかし、公立高校全体を一つの教育機関として考えると、公立高校同士で競い合うのも変だなとも思います。また、私も子供を持つ保護者なのですが、子供が受験をするときには出来るだけ、倍率が低ければいいなとも思ったりもします(笑)。それよりも受験人数が少ないときには、その原因のほうが気になります。

- ⑤ 受験倍率が低いことで、学校が想定しているよりも低い学力の生徒が入学してくることはありますか？

公立高校は、その年に入学した生徒に合わせて授業を行なうため、学校が生徒の学力を想定するという事はしません。受験人数は少なくなってきていますが、受験する生徒の学力は下がってはいませんので、入学早々授業についていけない生徒はいません。また、本校の場合には数学の授業に特徴があります。数学は生徒の得意、不得意の差が大きい科目です。そのため、1年生から少人数制の習熟度別クラスを作って授業しています。定期テストごとに、年間で5回のクラス替えを行ない、生徒の学力に応じた授業を行なっています。

2年生から理系、文系に別れるのですが、理系クラスの数学でも習熟度別の授業を行っています。そして、2年生以降は年に10回以上のクラス替えがあります。定期テストとは別に単元ごとのテストを何度も行ないます。そのテストは生徒の評価を目的としたものではありません。テストという目的のもと、集中して勉強する時間を作ることを目的としています。

- ⑥ 今年の1年生から新しい入試制度になりましたが、入学してきた生徒に違いはありましたか？

新しい制度になってどうなるのかは、私たちも気になっていました。そして、今回の制度では予想外の結果が出てきました。本校ではこれまでの特色化選抜で独自問題を行なっていたため、一般入試よりも特色化選抜で合格した生徒の方が高い学力を持っていました。しかし今回の選抜では、前期と後期での合格者の点数にほとんど差はありませんでした。

- ⑦ 前期選抜の採点項目にある特別活動に関する採点について教えて頂くことはできますか？

具体的な点数についてはお伝えできません。ただ、目安として皆勤賞だから30点を加点するというような、バランスの悪い採点はしていません。もし、細かい項目ごとの点数を公表している公立高校があれば、それと同じようなものだと思います。

部活動に関しては、生徒それぞれの事情でできない場合もあるので、重要視はしていません。これまで、千葉南高校では学力を重視した入試を行なってきました。今後もそれは変わらないと思います。

部活の大会結果に関しては、大会の規模によって、点数が細かく決められています。これは千葉南高校独自の規定によります。また、部活の種類やレギュラーかどうかで点数に差をつけたりはしません。出身中学の規模や大会の数なども調べれば調べるほど複雑になってきます。なので、運動部の県大会も文化部の県の展覧会への出品も同じ点数として扱われます。また、毎年必ず合格者の追跡調査というものを行なっています。調査結果をもとに、その加点が適性なのかを吟味しています。

⑧ 面接(ABC評価)の評価基準に関して教えて頂くことはできますか？

本校は5人で15分のグループ面接を行なっています。面接については評価によって点数化はしていません。短時間で人が人を評価するというのはとても難しいことです。そのため、人物確認程度の内容となります。面接は明るく、元気よく、と言われていますが、緊張してしまったり、うまく言葉を伝えられなかったりしたからといって気にする必要はありません。真剣に、その学校に入りたいという気持ちを持っていれば、大丈夫です。

⑨ 千葉南高校では進学実績に具体的な目標数値を掲げていますか？

はい、現役生から国公立大学に10名以上合格させることを目標にしています。昨年は目標を達成できませんでしたが、現役生の7名が国公立大学に合格しています。私立大学ではMARCHクラス以上の大学合格を目標にしています。そのため、学校での授業や進学補習もそれを意識したものになっています。

⑩ 公立高校の場合、先生の異動がありますが、偏差値の低い学校から高い学校へ異動した先生への指導内容の指示や、勉強会などは行なわれていますか？

偏差値の低い学校の先生が専門的な教務知識を持っていないということはありません。しかし、生徒のレベルに合わせた授業や教材、資料に関する研修や勉強会などは必ず行なっています。

⑪ 学校の進学補習の内容を教えてください。

まず2年生、3年生については4月から大学入試に向けた補習を行ないます。1年生に対しても長期休業中を利用した補習を行なっています。

⑫ 昨年度の指定校推薦にはどんな大学のどんな学部がありましたか？

主なもので、青山学院理工学部、学習院法学部、成蹊大学経済・法学・理工学部、専修大学経済学部、中央大学経済・理工学部、東京理科大工学部、東邦大学薬学・理学部、東洋大学経済・法学・理工学部、法政大学、明治大学、獨協大学、二松学舎大学、日本大学の推薦枠があります。他の大学や学部も合わせると300名分くらいの推薦枠があります。

⑬ 昨年度の卒業生の進路を教えてください。

卒業総数が317名です。国公立大学へ入学したのが6名、私立4年制大学へは約200名、短期大学が16名、専門学校へは20名、就職が5名、浪人生が約90名います。4年生大学へ、推薦やAOといった形で合格した生徒が約90名います。そのうち36名が指定校推薦となります。

- ⑭ 理系、文系それぞれ、学年何番くらいの順位を取っている生徒が指定校推薦を希望しますか？  
これは、推薦枠のある学校、学部にもよるので、何ともいえません。順位よりも評定平均を気にしたほうが、結果に直結します。
- ⑮ 生徒が就職を希望した場合には、学校はどのような対応になりますか？  
本校から就職を希望する生徒は、ほぼ全員が公務員を希望します。一般企業を希望する生徒はとても珍しいです。  
本校では、公務員を志望する生徒へ1年をかけて公務員採用試験に向けた対策(適性問題の対策、小論文の対策)を行なっています。公務員試験に向けた補習を行なう公立高校は他になかなかありません。  
一般企業への就職を希望した生徒にも、適性試験や小論文、面接などに向けた、採用試験への対策をおこないます。
- ⑯ 地震などの災害に関して、学校独自の対策は行なっていますか？  
学校独自の危機管理マニュアルを作成しています。自然災害から事件、事故などに関するものです。学校の実態、実情にあわせたマニュアルになります。
- ⑰ 平成22年に保護者あてに制服指導のお手紙を出していますが、服装の規則を守らない生徒は現在、どれくらいの割合でいますか？  
本校は服装に関しては、とてもきめ細かい指導をしております。また、その指導が生徒にしっかりと定着しています。なので、現在も厳しい指導をし続けているわけではなく、服装に関して決まりを守ることが生徒の中でも自然な状態になっています。
- ⑱ それ以外に、校則に違反する生徒(停学などの処分者)は年間何名くらいいますか？  
年によって変わりますが、ごく少数ですね。年間に1人いるかどうかという程度です。
- ⑲ 千葉南高校へ入学したら、「こういった事を学べる・こういった人間に成長できる」と学校が生徒へ約束できることはありますか？  
本校では人権教育に関して力を入れています。毎学期、生徒に対しての講演を行なっています。教育関係の講演もあれば、警察関係の方から犯罪や道德に関する物もあります。学力の教育だけでなく、心の教育を行ない、社会のリーダーになりうる人材の育成を行なっています。